

未来へ向かって旅立ち 町内の学校で卒業式

卒業シーズンを迎え、町内それぞれの学校で、総勢 272 人が未来に向かって旅立ちました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策から、各学校では在校生や保護者が式典に参加できないなど、規模を縮小した内容に変更されましたが、卒業生はそれぞれの思いを胸に、学校長から卒業証書を受け取りました。

【各学校卒業式の様子と卒業生の数】

- ・栗山小学校 卒業生 76 人
- ・角田小学校 卒業生 8 人
- ・継立小学校 卒業生 9 人
- ・栗山中学校 卒業生 94 人
- ・栗山高等学校 卒業生 52 人
- ・北海道介護福祉学校 卒業生 33 人



栗山小学校



角田小学校



継立小学校



栗山中学校



栗山高等学校



北海道介護福祉学校

住み慣れた地で人生の最期を 在宅医療・介護連携研修会

在宅医療・介護連携研修会が 2 月 19 日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、医療・介護従事者約 70 人が参加しました。国民健康保険由仁町立診療所副所長の久野和成さんが「医療・介護従事者の連携」をテーマに講演。高齢化に伴い広がっている在宅医療・介護について、在宅で可能な治療の種類や、地域の特性を生かして患者の支援に努める訪問診療について紹介しました。



サポーター 3 期生が誕生 くりやま公式サポーター認定式

くりやま公式サポーターの認定式が 2 月 28 日、役場会議室で行われました。今年度、新たに 3 期生 8 人が認定され、佐々木学町長から認定証とサポーターグッズが渡されました。サポーターは 1 年間の活動の感想や、これからの抱負を発表し、3 期生の巽優和さんは「自分の目で街並みや景色を見て歩くことで、栗山の魅力をより実感できました」と話していました。



町の犯罪ゼロに向けて 栗山町防犯協会総会

栗山町防犯協会総会が 2 月 18 日、カルチャープラザ「Eki」で行われ、同会会員など 32 人が参加しました。佐々木学町長は「防犯協会や地域の方と協力して、防犯意識の向上に努めたい」とあいさつ。総会では昨年の事業報告や今年度の活動予定などが議題に上がったほか、栗山警察署生活安全課の松本直樹課長による防犯研修会が行われました。



緊急時の物資輸送で連携強化 札幌地区トラック協会南空知支部と協定締結

町と一般社団法人札幌地区トラック協会南空知支部が 2 月 28 日、「緊急時における輸送業務に関する協定」を締結しました。役場会議室で行われた締結式では、佐々木学町長から「災害時などでの物資輸送は町民の安心につながるものであり協定締結に感謝したい」とお礼のあいさつがあり、同支部の工藤英人支部長は「災害時には私たちの輸送力を発揮したい」と話していました。

